

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	老人クラブ活性化事業		担当部署	健康福祉部 長寿介護課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	老人福祉法(昭和38年、法律第133号)第13条の2		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で 生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	14年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期	未定
(小項目)		高齢者福祉				
施策	4	高齢者福祉の推進				
基本事業	1	いきがいと健康づくりの推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市老人クラブ連合会						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市老人クラブへの運営費の助成、各種の情報提供及び地域包括支援センターとの交流会の開催等を通じ、老人クラブ活動の活性化を目指す。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		個別活動参加率	26.0	28.1	29.8	30.0	30.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①老人クラブ活動の活性化を推進するため、介護予防リーダーのクラブ活動を支援すると共に、市が実施する介護予防事業やサロン等に介護予防リーダーの活動の場を提供した。②地域包括支援センターとの交流会の開催。③老人クラブが実施する介護予防活動(セーフティウォークラリー・体力測定)の支援。④介護予防普及研修会の講師の派遣。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	会員数	24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
	2	個別活動参加者数	3,239	3,194	3,250	3,300	3,350	人
			897	854	900	950	1,000	人
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標		個別活動参加率	27.6	26.7	—	—	—	%
		目標達成率(実績/目標)		95.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	3,195	3,082	3,082	3,082	3,082	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	2,054	2,054	2,054	2,054		2,054
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
		一般財源	1,141	1,028	1,028	1,028		1,028
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		652	652	652	652	652	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		3,847	3,734	3,734	3,734	3,734	千円	

【事務事業名:老人クラブ活性化事業】

◎平成26年の実施状況(DO)

現在の実施状況	介護予防リーダーを活用した健康づくり活動の実施に向けて支援を行う。 「ひとり暮らし高齢者見守りネットワーク」の一員としての友愛訪問活動の継続に向けての支援。 地域ケア会議への参加・協力の呼びかけ等関係機関と老人クラブの連携強化支援。
---------	--

◎項目別評価(CHECK)

事務事業の評価	1.必要性の評価			理由等所見欄
	10	<input checked="" type="checkbox"/>	① 廃止した場合に支障が出る。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	② 施策 高齢者福祉の推進 の達成につながる事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要な事業である。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	/10	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
	2.有効性の評価			理由等所見欄
	8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 市民生活上の課題解決に貢献している。	
<input checked="" type="checkbox"/>		② 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。		
<input checked="" type="checkbox"/>		③ 事業目標が達成できるような事業内容になっている。		
<input checked="" type="checkbox"/>		④ 事業対象は適切である。		
<input checked="" type="checkbox"/>		⑤ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。		
/10	<input type="checkbox"/>	⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。		
3.効率性の評価			理由等所見欄	
8	<input checked="" type="checkbox"/>	① 事業実施手法は適切である。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	② 事業費を削減する余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 効率性向上の余地はない。		
/10	<input type="checkbox"/>			

◎今後の方向性(ACTION)

課題	少子高齢化に伴い高齢者人口は増加しているが、自己実現のためのニーズの多様化等により老人クラブ会員数は年々減少している。特に会員の平均年齢は高くなってきており、引き続き会員減少への歯止めと会員の若返りに向けての組織の活性化を検討する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	平成27年度	▼	4月	▼
	どのように改革するのか	①クラブ活動支援を、介護予防普及啓発事業とマッチングさせることにより魅力ある健康づくり・生きがいづくり活動へとしていく。 ②若手委員会と連携により介護予防リーダーの活用方法を検討し、前期高齢者の会員拡大を図っていく。			